

2016年(平成28年)2月24日



近隣12自治体が参集した

白岡市でアイスピグ施工

埼玉県初 長距離圧送管で

東亜グラウト工業

東亜グラウト工業(大岡侑三社長)は1日、白岡市内でアイスピグ管内洗浄工法による長距離圧送管洗浄作業を実施した。現場は同市新白岡地区内に布設されたダクタイル鉄管(φ150×542㍉)。埼玉県内初となる同工法の施工に合わせ、埼玉県都市計画部や春日部市など近隣12自治体が現場見学会に参集するなど高い関心が寄せ

られた。同工法は、特殊アイスシャーベットを用いた革新的管内洗浄工法。伏越し部などの複雑な配管形状部に堆積した夾雑物についても高い除去率を誇る。アイスシャーベットのため、管閉塞の恐れもない。過去には尾崎市で最長1600㍉(φ200)の圧送管洗浄実績があり、長距離管路に対応した唯一の洗浄技術とし

て、上下水道分野問わず認知されている。対象管路は布設後約30年が経過したダクタイル鉄管(φ150×542㍉)。上流側の新白岡中継ポンプ場から下流側人孔までが圧送管路区間。管内に堆積した夾雑物により管壁にバイオフィルムが形成され、吐出し口人孔で硫化水素が発生するなど、維持管理上の課題が生じていた。経

年劣化や夾雑物堆積により流下能力低下も懸念されており、圧送管の流量改善と延命化へアイスピグ管内洗浄工法を採用することとなった。1日午後1時半から洗浄作業を開始。アイスピグ輸送車両(デリバリーユニット)で計4・4㍉のアイスピグを上流側の中継ポンプ場の弁から注入し、7分かけ250㍉分のピグを形成。その後、給水車を用いて管内に注水しピグを押し出しながら管内を洗浄した。

下流部の回収口には、シグナルを流れる様子を見て洗浄効果を実感した」と話した。

ンクする水質監視機のほか、デモ施工用の透明アクリル配管(写真)が設置され、夾雑物を包み込み黒色に変色したアイスピグが流れ込むと見学者らはその洗浄効果に関心を高めた様子。洗浄開始から1時間ほどで作業を完了した。

白岡市下水道課の担当者は一長距離圧送管路は日々の維持管理で頭を悩ませていた現場。従来工法では対応が困難であったところ、同工法を知り採用を決めた。洗浄直後にきれいな水が流れる様子を見て洗浄効果を実感した」と話した。